

学校教育目標	「ともに学び ともに高め合い ともにかがやく」 ・すすんで学び合い、考えを深める子(知)(開) ・自分も友達も大切にし、集団の中で自分らしさを発揮できる子(徳)(公) ・健康に関心を持ち、心身共に成長する子(体)				
	学校概要	創立 33 周年	学校長 村越 直之	副校長 三田 恭子	2 学期制
児童数: 582 人		主な関係校: 中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重して協働する力 相互に考えを伝え、深め合い、合意形成する力 自分らしさを発揮しようとする力 自己実現に向けて、自主的に考え、課題解決をする力 	<ul style="list-style-type: none"> 中川西中学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校 	<p style="text-align: center;">つながりの中で、あいさつをしっかりと、認め合い、励まし合い、高め合い、自らの課題を見つけ、解決しようとする子</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○授業交流を通して、小中一貫カリキュラム改善を組織的に推進し、共通理解を深める。 ○生徒指導専任と児童支援選任との連携を強め、児童・生徒の問題行動を未然に防止する環境づくりを目指す。 ○児童と生徒の交流を行うことにより、小・中学校間のギャップを少なくする。

中期取組目標	<p>○「主体的・対話的で深い学び」を通じ、自他を尊重し、まちとともに成長する子どもを育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs(持続可能な開発目標)の視点を軸に、子どもたちが「主体的・対話的で深い学び」を通じて、地球の未来を語り合い、すべての人が豊かな暮らしを送ることができる社会の担い手を育てます。 ・自分も友達も大切にでき、一人ひとりが自己有用感を持つことを目指した、クラス運営・学年運営、異学年交流等を行います。 ・健康な心身をつくるため、家庭・地域と連携し、生活習慣や運動習慣を形成します。 ・地域での豊かな体験を通して、まちの一員としての自覚を持ち、まちをよくしようとする態度を育みます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	①SDGsの視点を軸に、日常的な学習を通じて身に付けたことを活かして、教科横断的な「主体的・対話的で深い学び」を通じて課題解決する力を身に付ける。②1人1台端末環境と高速大容量通信ネットワーク環境の活用により、プログラミング教育に重点を置いた論理的思考の育成を協働的な学びを通して実践する。
徳	豊かな心	①クラス単位だけでなく、学年単位の活動、たてわり活動、クラブ活動、学校行事など多様な集団の中で学習することで、自分を大切に、他者を尊重する態度を身に付ける。②SDGsの視点を軸に、すべての人が心豊かな暮らしを送ることができる社会について考える態度を育てる。
体	健やかなからだ	①感染症対策を継続するとともに、食育指導などを通じて健康に生活する習慣を身に付ける。②体育や休み時間など、運動の時間を確保するとともに、家庭・地域と連携し、児童が運動に親しむ習慣を身に付ける。③子どもたちの心の健康状態にも留意し、きめ細やかなケアを行う。
公	公共心と社会参画	①地域の人やものと積極的に関わり、まちの一員としての自覚を育む。②学校の中の様々な場面で児童が自己有用感を持ち、学校をよりよくしていこうとする態度を育む。③学校・地域コーディネーターと協力し、地域学校協働活動を広げていく。
開	未来を開く志	①様々な個性を尊重し、グローバルな視野を身に着ける活動を行う。②持続可能な社会がどのような社会か考え、実現に向けて行動する態度を育む。③横浜のキャリア教育「自分づくり教育」などを通じて、子どもたち一人ひとりが自分に自信をもち、夢や希望、目標をもてる子どもを育てる。
いじめへの対応		①児童一人ひとりが安心して豊かに生活できる学校づくりを通じて、人権感覚を丁寧に育み、困っている人を助けられる子どもに育てる。②校内組織である児童指導プロジェクトがいじめ防止対策委員会を兼ね、毎週の職員打ち合わせにおいて全校の情報を共有し、学校組織としてきめ細やかな対応を行う体制を整える。
人材育成・組織運営(働き方)		①初任研コーディネーターを中心に、初任者だけでなく経験年数の浅い教員の研修を計画的に行う。②経験年数の浅い教員を中心としたメンターチームを活用し、日々の業務の困り感などを共有し、支え合える人間関係を作る。③プロジェクトを中心に職員一人ひとりが学校づくりに参画し、風通しのよい職場とする。
特別支援教育		①児童一人ひとりの個性に応じた適切な支援を組織的に行っていく。②個別支援学級(5.6くみ)や特別支援教室(にっこりルーム)の学習環境を充実させ、支援が必要な児童が適切な支援を受けられるようにする。③学校、特に教室のユニバーサルデザイン化を進め、誰でも落ち着いて安心して学習できる環境を整える。
地域学校協働活動		①今年度設立予定の学校運営協議会で、学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に協働しながら子供たちの成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。②地域学校協働本部と学校運営協議会が一体となって地域学校協働活動を進める。
児童指導		①児童の目線で、児童が安心して学習や生活ができる学校を目指して「スタンダード」を組織的に継続的に見直していく。②学校で起こっている問題について、定期的に全職員で共通理解する場を設け、適切でぶれない指導を学校全体で継続的に行っていく。